



## 古川 昇 議員

### 質問 縮小する介護サービスについて

- (1)介護予防・日常生活支援総合事業の進捗状況を伺う。
- (2)高齢者一人世帯・二人世帯の増加で、地域包括支援センターの役割は重要である。地域包括ケアを推進する上での課題解決に向けて、市の役割と包括支援センターへの関わりについて伺う。
- (3)要介護認定者の介護サービスを維持していく施設介護の課題と市の対応について伺う。
- (4)認知症の理解と支える体制づくりについては、普及啓発・予防・早期発見対応・地域支援・本人と家族支援など多岐にわたる事業であるが、それぞれ事業の進捗状況と課題を伺う。
- (5)介護人材確保のために学校関係・介護事業者・行政などで就業促進に向けて対策を急ぐ必要があるが、考えを伺う。

### ▼市長答弁

- (1)介護予防・日常生活支援総合事業の素案を10月に介護事業所などへ説明し意見を聴いた上で、来年4月から「基準緩和型」の新サービスを提供する予定である。
- (2)各地域包括支援センターから上がってくる地域課題のほか、市が取り組むべき課題について、施策を企画・立案し、事業を展開していく。
- (3)施設介護は介護保険料への影響が大きいため、今後の長期的な需要量を踏まえて、慎重に計画していく。
- (4)現在、地域ケア会議を活用したネットワークづくりを中心に展開している。また、今年度は認知症ケアパスの作成に取り組んでおり、現在の課題である早期発見や医療と介護の連携強化を進めていく。
- (5)介護人材不足の解消に向けて、修学資金貸付事業を実施しており、現在7名の利用がある。今後も学校や介護事業者に向けて、制度の周知等、情報発信を進めていく。



## 吉岡 静夫 議員

### 質問 根っこからの柵口温泉権現荘問題対応へ

今回の一連の「柵口温泉事業」問題。どう受けとめ、対応するのか。根っこから見直し、考え直すべきではないか。

### ▼市長答弁

様々な検討を行った結果、支配人については9月末までで雇用を終結することとした。また、行政の管理監督責任についても一定の段階で責任を明確にする。

権現荘は、交流人口の拡大に寄与し地域振興の役割を担っていることから、見直しは考えていない。

### 質問 桂・工場用地対応、原発発生貝ガラ処分、集落・町内での配りもの回覧対応、姫川病院その後

- (1)桂・工場用地対応その後、具体的な動きがあるやに聞き及ぶこともあるが、行政としてどう捉えているか。
- (2)原発発生貝ガラ処分対応その後の動き、これからの対応はどうなっているか。
- (3)町内会などでの配りもの・回覧対応について、急速に早まる高齢化は、これまでの日常普通に対応できた配りものや回覧行為さえも大きな問題として暮らしにのしかかってきており、抜本的な対応を考え合うべきと考えるが、いかがか。
- (4)「空き家」対策が国・地方を問わず大きく取り上げられているが、そんな足元での大型「空き家」姫川病院対応を、今こそ私たち市民のものにしてはどうか。

### ▼市長答弁

- (1)旧東食品の工場については再稼働の動きもあるが、市の工場用地に介在する土地について具体的な動きはない。
- (2)その後、柏崎市から区域外処理の要請がない状況である。
- (3)市の広報紙等は、それぞれの自治会から選出された囑託員から配布いただくことを基本としている。高齢化等により囑託員の選出が困難な自治会については、個別の相談に応じている。
- (4)新たな状況変化があれば、対応を考えていく。